

大学院農学研究科生物環境学専攻環境保全学コース
環境計測学教育分野（准教授）の募集

1. 対 象 者

(1) 所属・職名：大学院農学研究科 生物環境学専攻 准教授 1名（女性限定）
「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」第8条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性に限定した公募を実施します。

教育組織：環境保全学コース

(2) 教育分野：環境計測学

人間活動に伴って生成する有害化学物質の環境汚染に着目し、微量分析に要求される高感度性、簡便性、迅速性の追求と多成分同時分析法及び状態分析法等の分析手法の開発を通して、有害化学物質による汚染の現状、分布とゆくえ及び汚染源の解明さらに改善方法等についての教育研究を行う。また、廃棄物処理・資源循環に伴う有害物質の発生挙動解析やリスク評価、未利用バイオマスの資源化など循環型社会の構築推進に係わる教育研究を行う。

(3) 資格条件：ア. 女性で博士の学位を有する者
イ. 環境中化学物質（内分泌かく乱物質や農薬、医薬品・生活関連物質等）の微量分析法開発や環境計測、生物または生態系に対する影響評価等に関する研究業績を有する者
ウ. 有害化学物質の微量計測法の開発や環境動態の解明、影響評価等に関する研究プロジェクトに、環境保全学コースや環境先端技術センターの教員と協力して取り組むことのできる者
エ. 環境保全学コースおよび生物環境学専攻の管理運営と教育に、積極的に取り組むことのできる者
オ. 決定後、できる限り速やかに着任可能な者

(4) 雇用条件：給与は、月給制を適用する

(5) 担当授業科目：大学院：環境保全学特論(分担)、水環境再生科学特論(分担)、研究プレゼンテーションⅢ(分担)、インターンシップ(分担)、環境保全学特別演習Ⅰ(分担)、環境保全学特別演習Ⅱ(分担)、環境保全学特別実験Ⅰ(分担)、環境保全学特別実験Ⅱ(分担)、その他研究科共通、専攻共通科目
学部：環境保全学概論(分担)、海洋環境学(分担)、水環境先端分析学(分担)、環境機器分析学(分担)、資源再生利用科学(分担；水環境再生科学特別コース科目)、生物環境保全学実験Ⅰ(分担)、環境保全セミナー(分担)、環境計測学実験(分担)、卒業論文(分担)、その他共通教育、学部共通、学科共通、教職科目

2. 提出書類

(1) 履歴書：所定様式 1通
(所定様式は<http://www.agr.ehime-u.ac.jp/outline/inquiry>からダウンロードしてください。)

(2) 研究業績等目録：A4版横書き（学術論文、著書及び参考業績中学術論文に準ずるものは、目録に記載したもの全てについて別刷りあるいはコピーを1部ずつ添付）
学位論文—題目、年
著書—書名（編、単著、共著、分担）、総頁数、著者名（分担項目、頁）、出版社、発行年
学術論文—全著者、年、題目、誌名、巻（号）、通頁
参考業績—学術論文に準ずるもの、特許や外部資金獲得等の実績
なお、学会発表は件数のみで可
教育実績—担当授業科目、場所、期間

(3) 現在までの教育研究内容の要約（1,000字程度）
着任後の教育研究に対する抱負（1,000字程度）

(4) その他参考となる資料

3. 応募期日：平成29年11月21日（当日消印有効）

（書留等確実な方法を用い、当方から連絡する場合の宛先、電話番号及び

メールアドレスを明記のこと)

4. 送 り 先 : 〒790-8566 松山市樽味3-5-7 愛媛大学大学院農学研究科長
(封筒に「環境計測学教育分野」と朱書のこと)
5. 選 考 方 法 : 一次:書類選考
二次:面接と、模擬授業あるいはセミナー
(但し、旅費等の経費は自己負担とする)
6. 問い合わせ先 : 農学部総務チーム 電 話 (089) 946-9803
F A X (089) 977-4364
e-mail: agrshomu@stu.ehime-u.ac.jp
7. 公募書類の送付先 : 所 定

[付 記]

環境保全学コースの状況(平成29年9月22日現在)

専任教員:教授4, 准教授4

[うち環境計測学教育分野 教授1(鏑迫典久) 准教授1(高橋真)]

兼任教員:教授1, 准教授1, 助教1

寄附講座教員:教授1, 准教授1, 助教1

- ※ 個人情報保護のため、応募書類に記載された個人情報は、選考及び採用以外の目的には使用しません。また、応募の秘密は厳守します。
なお、選考の結果、採用される方の氏名を愛媛大学ホームページで公表させていただきます。